

# 2014年度自己点検・評価報告書(シート)

## 【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

### 《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

### I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	国際学部
大項目	7 国際交流
中項目	
小項目	7.0.1 国際交流(国内外における教育研究交流)についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
小項目	7.0.2 国際交流(国内外における教育研究交流)を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況(院)

### II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

#### 《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。  
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。  
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。  
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2010年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 原則として短期留学(約1ヶ月)、中期留学(海外インターシップ含む、約4ヶ月)、長期留学(約1年または半年)のいずれかのプログラムに学生を参加させ、外国人留学生を除く全学部生を留学させる。	→ 1. 指標: 外国人留学生を除く、学年毎の留学参加率(平均) 評価基準: 95%以上…評価A、90%以上…評価B、85%以上…評価C、85%未満…評価D		D	B	A	A
2. 交換留学生を25名以上受け入れる。	→ 2. 指標: 交換留学生25名に対する達成率 評価基準: 95%(24名)以上…評価A、90%(23名)以上…評価B、85%(22名)以上…評価C、85%未満…評価D		A	D	D	D
3. 学部独自の中期留学先として中国、韓国、北米からそれぞれ1校以上を開拓する。	→ 3. 指標: 学部独自の中期留学先を確保した校数 評価基準: 3校以上…評価A、2校…評価B、1校…評価C、なし…評価D		A	A	A	A

☆

2011年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

## 《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 留学部会、留学事務担当者による、新入生オリエンテーション、留学説明会、留学事前講義の開催により、留学先で不適合を起こさないよう取り組んだ。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 2010年度入学生について、外国人留学生などを除く留学必須対象者244名中238名(97.5%)が留学した。なお、留学していない学生は残留生であり留学予定である。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 引き続き、新入生オリエンテーション、留学説明会、留学直前の留学事前講義を行うことにより、留学先での不適合を起こさないようにし原則全員が留学に参加できるよう取り組む。	☆
		その他	
			☆
目標2	D	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 大学の方針により、新設学部であり完成年次になっていない学部に交換留学生を配置しないこととなったため、交換留学生の受け入れはなかった。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か	☆
		その他	☆
			☆
目標3	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 留学先の確保について、留学部会、学部長室委員会、教授会にて審議・決定した。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 中国: 北京第二外国語学院、韓国: 延世大学、北米: ハワイ大学マノア校の3校を国際学部独自の中期留学先とした。2014年度秋学期から、既存の英語中期留学(ハワイ大学マノア校HELP)4ヶ月プログラムに加え、7ヶ月プログラムを開始することを決定した。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 2014年度秋学期からの英語中期留学(ハワイ大学マノア校HELP)7ヶ月プログラムを滞りなく実行する。	☆
		その他	☆
			☆
備考			☆